

松山市への 分水問題について考える

松山市への分水問題について、市では「水資源対策調査研究会」を立ち上げ、市内における今後の水需要について調査を進めるとともに、皆さんのご意見等を募集しています。
今回は、現在寄せられているご意見等の中から一部を紹介するとともに、渇水時における地下水位の変動状況についてお知らせします。

市民の皆さんの ご意見等を紹介します

- ◆西条市民にとって命の水を大切に、市民を守ってください。
- ◆よく調査をしたうえで、先々、西条市が困ることのないようにしてほしい。
- ◆今回の問題は加茂川水系に水が余っているかどうかの



▲昨年の渇水で干上がった加茂川（武丈）

- ◆ことであるが、昨年は渇水に見舞われ農業をするうえで非常に苦労したことを思うと、水が余っているとは思えない。よって分水には絶対反対します。
- ◆平成6年の大渇水時などの緊急避難的な水供給は人道的にも協力すべきだが、いったん同意すれば永久となるから反対です。
- ◆水が今あるからといって、未来永劫あるとは保障できないから、分水には反対である。
- ◆30年先・50年先のことを考え、地元の水を確保し、この水を都市間競争の武器の一つとしてほしい。
- ◆都市づくりについて、根本的な再検討を松山市に対して促すべきではないか。

地下水位の変動状況をお知らせします

下のグラフは渇水に見舞われ、自噴水の大半が停止した平成6年と17年の地下水位を示したものです。

地下水は、天候や自然環境に対して敏感に左右され、地下水位が低下すれば「うちぬき」が止まり、自噴地帯の減少や臨海部での塩水化などが生じ、市民活動や産業活動に重大な支障をきたします。

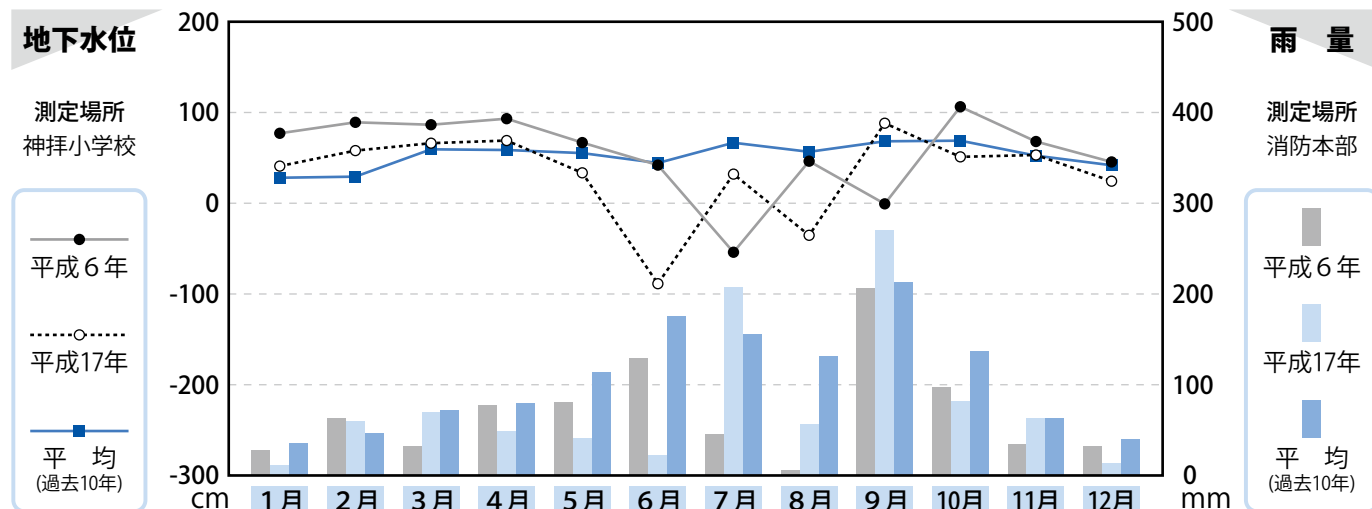
湧き水・自噴井に関する
情報をお寄せください

市では地下水の状況を把握し、湧き水・自噴井の保全と活用を検討するため、皆さんの身近にある湧き水・自噴井の情報を募集します。
湧き水などの状況、情報提供者の住所、氏名、連絡先を水資源対策調査研究会へお知らせください。

お詫びと訂正

広報3月号5ページに掲載した加茂川の水利権を保有する団体について、6団体とありましたが、「住友共同電力(株)」「四国電力(株)」が加茂川を利用して水力発電所を設置しており、正しくは8団体となります。
訂正して、お詫び申し上げます。

渇水時における地下水位の変動状況



松山市への分水問題についてのご意見等、湧き水・自噴井に関する情報をお待ちしています

水資源対策調査研究会（市庁舎別館 1階環境課内） TEL0897-52-1221

〒793-8601 明屋敷164

FAX0897-52-1294

e-mail kankyo@saijo-city.jp